

生涯の天命（使徒1:1）

序論 - 属国

▶ありがとうございます。こちらに今、日本の多くの使命者の方々がお集まりになっています。また、これから世界福音化をされる使命者の方々が集まっています。また、レムナントもいらっしゃいます。
▶使徒1:1を見ると、「テオピロよ。私は前の書で」書き記したと書いてあります。前の書に書き記した内容とは、ルカの福音書です。医者ルカがテオピロに送った手紙です。簡単に思うかもしれませんが、ここにすべての答えが含まれています。

1) 苦難

▶こちらは明確な証拠が現れた現場です。もうすぐ滅びるローマがイスラエルを属国にしていた状況でした。その状況にあるテオピロに送った手紙です。イエスがキリストであるということを説明する手紙です。今、私たちにはとても重要な証拠が現れています。どんなにあがいても成功しても、苦難の中にいるという確かな証拠があります。

2) 災い

▶苦難だけではありません。立て続く災いの中にあるという証拠が見えています。

3) 霊的な問題

▶そして、霊的問題によって苦しみに遭うしかない証拠があります。

▶それに対する答えです。私が前の書に書き記した...つまり、イエスがキリストだという事実を手紙で送りました。そして、その方が復活した以降に起こったことを説明しました。その方が最後にこのように約束された。地の果てに至るまで証人となると約束されました。しかも、他のことではなく、ただ聖霊があなたがたの上に臨まれることによって。

▶皆さんは今回の集会を通して、3つの単語を覚えてください。その中のまず今日第1講義目です。これは何を説明するのか。生涯の天命を受ける時間です。祈りの答えの中で最も重要な鍵は、まずここから現れます。そこで今回の集会は、私が生涯捕まえないならならぬ神の御声を聞く時間になるようお願いします。

▶答え - キリスト

この答えは、キリストです。すでに答えは下されています。なぜ苦難に遭い、災いの中にあつて、霊的問題から抜け出すことができないのでしょうか。このキリストという言葉はどういう意味でしょうか。

1) サタン - サタンに打ち勝った王という意味です。人々はこのサタンにすべて捕えられています。

2) 地獄 - 地獄の背景を完全に打ち砕いた真の預言者という意味です。

3) 災い - 罪によって受けるしかない災いを完全に打ち砕いた真の祭司という意味です。これは偉大なる奥義です。こちらに対して皆さんは答えを下さなければなりません。そこで生涯の神の御声を聞く時刻表であるということです。こちらにはすべての重要な牧師先生方がいらっしゃいます。そして、こちらには日本生かす重職者の方々がいらっしゃいます。また、こちらには未来を生かすべきレムナントの方々が座っておられます。

▶聖書をよくご覧いただきたいと思います。祈りの答えを受けたすべての人々の特徴は、生涯の天命を見たということです。一人の人だけ例を挙げましょう。皆さんがよく知っているモーセです。モーセは80年間、多くの事がらを学びました。でも、モーセには答えが出てきませんでした。なぜなら、生涯の天命がなかったからです。自分が本当に握るべき天命を見ることができなかったから、ずっと苦難の中に入っていました。さらに後には危機の中に入っていきます。そのときに、生涯の天命を見ます。ここで重要なことに気づかなければなりません。

▶福音以外のすべての成功→苦難、災い、霊的な問題

福音以外のすべての成功は、この3つだったという証拠が出ました。この福音は偉大なものです。この福音からまず確認されてこそ、生涯の天命が出てきます。福音なく成功した人々は、無条件、戦争を作り出しました。福音なしで起こった経済は、無条件、霊的問題を作りしました。福音のない宗教は、とにかくこの災いに至ります。その証拠が現れています。そうです。

▶日本は重要な国です。私が見るには、福音か、またはこの問題の中にあるのかということです。でも、心配しなくてもよいのは、一人によって御働きが起きたからです。そこで皆さんもその一人の中に入れてよいのです。それですべてです。なぜなら神はすべてをなさることができるからです。神はモーセ一人を通してこの御働きをされました。モーセは勉強もたくさんしました。でも、解決されませんでしたし

た。モーセには権力もありました。でも、解決されませんでした。モーセはたくさんの準備もしました。でも何ごともうまくいきません。一言で終わりにしました。

▶福音 - 出 3 : 18

モーセよ、イスラエル民族を連れて血のいけにえをささげるためにここから出るということをパロ王に伝えなさいと言いました。でも、その人が私をなかなか離してくれないでしょう。私が力の御手をもって彼らを打つと言われました。そして、こう言われました。それが証拠であると言われたのです。とうとうモーセは 80 年ぶりに生涯の天命を発見します。

▶もう一人だけを例に挙げます。ダビデは幼いときから天命を見つけました。だから、すべての事がらが答えになったのです。モーセは 80 歳になってを見つけました。でも、ダビデは子どものときに見つけました。この差があります。神様は、皆さんにこの答え、一生の天命を備えておられます。

本論

▶さて、それではどのようにこの祝福を見つけることができるか？

見つける前に、とても些細なことですが私の話からお話しします。私の家は元々、クリスチャンホームでした。正直に告白します。私はたくさんの牧師先生方を見ましたが、まったく幸せではありませんでした。幸せまでは望みませんが、何事もうまくいきませんでした。私はそれを見ました。そこで、私は教会に通うべき理由を発見できませんでした。あえてキリストとはどういう意味なのかということを考える余地は全くありませんでした。真っ暗でした。だから、私は信仰生活をする事自体が苦しみでした。そのときは分かりませんでした。当然そうするしかありませんでした。だから、すべての教会が苦しんでいるということについて気づいたのです。多くの牧師たち、宣教師の方々がただあがいているということを見ました。そうならば、私はそのような職業を選択することはできない。もしもそれが真実ならば、私はそんな神様を信じることはできない。そう心で判断したのです。子どもの頃から、私はそういうことを見ました。だから、私は完全に崩れてしまいました。完全に崩れたとき、神様が福音について知らせてくださいました。子どものときから、イエス・キリストのことは知っていましたが、すべての問題の解決者だということが分かったのです。

▶この 3 つの問題（悪魔、地獄、災い）を解決されることが、すべてを解決されたということです。その日から、今まで一日も欠かさず正確に続けて答えられました。私はイエスを信じる人々が傷ついて落胆したということを理解できません。なぜなら、私はキリストがわからないときにそうだったからです。誰かに認められてないからこうだった。それは理解できません。多くの牧師や宣教師が自分で何とかやろうとする。そのような姿が理解できませんでした。成功した例もなく、それは私が福音を分からなかったときの状態です。皆さん、このキリストですべての答えが出なければ天命を見つけることはできません。

1) 生涯天命 "信仰" - 答え

▶それではどのようにこの答えを出して、私の生涯の天命を見つけられるのでしょうか。生涯の天命の信仰とは何でしょうか。

2) 生涯天命の"生活" - 旅程

▶生涯、神様から命令を受けなければなりません。それに対する重要な生活とはどんなことなのでしょう。

3) 生涯天命 "業" - ただ

▶生涯の天命の中で、神が私に対して備えた業とは何か。

▶重要です。この答えがすぐに出て来なければなりません。福音の中で私に生涯の天命として命令されたその答え、その信仰、生活、学業、業とは何でしょうか。ここでの私の産業はどうしたらよいのか。これに対して早く答えを下さなければなりません。最後の日にお話ししますが、第 4 次産業とは何でしょうか。最近出てきていますよね。第 1 次産業とは何でしょうか。ただ農業を営んだり糸を巻いたり、それが第 1 次産業です。第 2 次産業とは何でしょうか。それは製造することです。ただ土を掘るだけの農業だけではなく、いろいろと製造するという事です。では、第 3 次産業とは何でしょうか。すべてをデジタル化していくことです。だから、このようなコンピュータが出てきたり、携帯電話が出てきたのです。この第 3 次産業を 3 団体がすべて掌握しました。皆さんもすでに存知ですね。この 3 次産業の中でコンピュータとモバイルが世界を掌握したのですが、これが 3 団体が作ったものです。クリスチャンがただぼんやりしているときに、彼らがすべて世を掌握しました。私たちは今、すべての収入を彼らの方につき込んでいるということです。仕方ありません。すべて奪われてしまいました。では、第 4 次産業とは何でしょうか。今まであったすべての情報を持ちまして、まだ来ていない未来の状態を見るた

めに、すべてをサイバー化していくことです。それが第4次産業です。病院に行かず治療しよう。OKです。それが第4次産業です。銀行に行かず取引しよう。OKです。学校に行かず勉強しよう。OKです。それが第4次産業です。どういう話なのでしょう。つまり、今皆さんがされている仕事、事業が無くなるということです。もうまもなく無くなります。ですから、神様が重要なみことばを与えてくださいました。しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるときに力を受けて、エルサレム、ユダ、サマリア、地の果てにまでわたしの証人になりますと言われました。それでは皆さんの業はどうしたらよいでしょうか。私の生涯にとって確実な契約を握っていかなければなりません。なぜなら、キリストがすべての問題の解決者であるからです。教会が成功するために、うまくいかないからとあれこれやることは偽りごとです。私の信仰生活ができないから、あちこちいろいろな教会に回るといふことは、それが偽りなのです。誰もいなくても可能です。なぜなら誰も与えることができない答えを持っているのがキリストだからです。誰も助けてくれなくても、助けをもらう必要もありません。なぜなら誰も教えてくれない生活のど真ん中に入ることが、神から与えられた答えだからです。皆さんが持っているもの、偉大なるものを持っています。福音です。だからパウロは、その高さ、深さ、広さを計り知れないと言われました。だから、皆さんは落胆する必要が一切ありません。そうですね。そこで今回はすべてを直さなければなりません。

1) 生涯天命の信仰・答え

▶では、一生の答えである生涯天命の信仰とは何でしょうか。もちろんキリストは神様ですが、実際的に何かということ。答えが出ているということです。答えが出たでしょう。神は答えを与えてくださいました。

2) 生涯天命の生活 - 旅程

▶生涯の天命の生活とは何でしょうか。旅程です。答えではありません。旅程なのです。そうですね。私たちは、神の契約の旅程を歩いて行くのです。それが信仰生活です。

3) 生涯天命の業・ただ

▶絶対天命を与えてくださるその業の鍵は何でしょうか。(key)。それはただということです。皆さんの産業がそのようになってこそ正常であるということです。

▶ですから、最初から間違っているために次から次へと困難が来るのです。もっと重要なのは、皆さんが救われたがゆえに、こうしていかなければなりません。もしも皆さんの中で私はやはり悪魔の子どもかもしれないという確信があるならば、このようなステップを踏む必要はありません。私は牧師にまでなったけれど、やっぱり悪魔の子どもかもしれないという確信があるならば、このような内容は必要ありません。私が確かに神の子どもであるなら、このように歩んでください。

1.生涯天命「信仰」 - 答え

1) レムナント7人

▶では、レムナント7人を見ていきます。このキリストの答えを下したレムナント7人は何を言ったのでしょうか。簡単にお話ししてみます。あなたがどのようにして私の夢を解きあかし、どうしてあなたはそのような知恵があるのか。簡単に答えたのです。主が私とともにおられるためと言われました。主が王であるあなたを愛しておられますから。そして、総理になりました。出世は簡単です。総理になりました。もちろんそうなれると思います。でもその時こう言いました。兄たちが私を先に送ったのではなく、救いのために神様が私を先に遣わした。答えが出ているということです。そうですね。

▶レムナント7人中でもう一人、例を挙げます。ダビデです。主が私の羊飼いであるため、私は何も乏しくないと告白しました。誰も止められない告白です。この告白はサタンが完全に屈服する告白です。皆さんはこの祝福を常に味わって行かなければなりません。神の民である世界を生かす皆さんが、一番初めに味わう3つのうちの最初が今日の天命です。主が私の羊飼いであるために、私は何も乏しくありません。私には必要なものはありません。ダビデの告白です。そこにはとても重要な意味が含まれています。未信者と同じような暮らしをしているサウル王が求めているようなことは私に必要がない。そうですね。

▶私は秘書たちに度々こういう話をしています。何かうまくさせるためにお知らせするようなことは必要ない。知らない秘書が私の名刺を作ってきましたが、後援金を求める口座番号を入れて作ってきました。私はそのような名刺を使用することはできません。私はそのようなことはしません。なぜなら、神は確かに私とともにおられるからです。教会が復興するにつれ、隣の教会から迫害されましたが、まったく恐れはありませんでした。なぜなら、教会史では一度ももれなく復興した後に迫害されたからです。教会は悪魔に仕えるようになってはいけません。サウル王の横で自分の出世のためにいろいろとごますり

をするような人達が求める内容は必要ないということです。軍服が自分に合うものがありませんでした。ダビデが戦争に出かけるときに。自分に軍服がありません。主が私とともにおられるからと言いました。そして、鎧を着ているゴリアテのところに行こうと言いました。あなたは槍や刀をもって私に立ち向かってきた。しかし、私はあなたがなぶった主の御名によって立ち向かう。私たちのこの首、いのちがその剣にあるのではないということを証明する。そして、私たちのいのちが主にあるということを証明すると言いました。すごい告白です。答えが出ている人達です。答えが出ている状態であるなら、なんの試み、つまりきもありません。おそらく分かっているけれどうまくいかないという人は、いやされていなければなりません。このいやしについては後ほど話しますが、まずはこの内容から握ってください。

▶パウロはこのように告白しました。ものすごく偉大なことをしました。でも、私は実際に成し遂げたものはない。ただキリストに捕らわれた、そのために走り続けると告白したのです。人々はみな成功を求めているので、私はそれらをすべてちりあくただと告白しました。人々はお金の目的のために悪を行うことも平気でやります。しかし、私はそれらをちりあくただと思うと言いました。人々は褒められること、認められることを好んでいます。私は上から召されたその召しのために走ると言われました。人々は市民権、永住権を誇りますが、私たちの国籍は天にあると告白したのです。それはたとえ話ではなく、答えを話しているのです。

2) ヘブル 11 章

▶ヘブル 11 章の人々です。この中を見ますと、聖書の人物はすべて出てきたということです。ヘブル 11 章の中で、バビロンの捕虜になって行った人がいます。私はいつも心に置いています。私たちは、火の中に入っても主が救いだしてくださるだろう。たとえ助けてくださらないとしても。3 人の友人です。どうしてか分かりますか。答えを持っていたからです。それでおしまいです。皆さんは神様の子供です。私はどんなときでも人を無条件許します。なぜならサタンを喜ばせてはいけないからです。ダニエルをご覧ください。死ぬということを知っていました。けれども 1 日に 3 回窓を開けてただ祈るのではなく、感謝しつつ祈りました。

3) 初代教会 (使徒 1:14)

▶初代教会です。私が初代教会に一番心を打たれた部分は、使徒 1:1 のメッセージを握った人が 1:14 に集まりました。これが教会の始まりです。これが教会です。理由なんてありません。理由を知っているからです。そうです。これらの人々は死ぬことを知ったうえで集まりました。これらの人々は財産すべて切られるということが分かっていたのですが、でも、行きました。社会で断絶、または危機に遭うかもしれないということも知っていました。でも、関係なくいきました。どうしてでしょうか。それ以上、重要な答えを握っていたからです。ですから御働きが起きるしかありませんでした。祈りをたくさんする、しないという問題ではありません。この答えなしでたくさん祈るということは、時間を費やすということだけになります。それは祈るのではなく、あがいている状態です。答えなしでただ祈るということは、ただ単に努力してあがいているだけです。神様は皆さんがあがいている状態を望んでいません。私は、日本に来るとメッセージがしやすいです。なぜなら、一旦、言葉を理解してくださるという気がします。その後の行動がしているのか、していないのかという問題があるのですが、でも話自体はすごく通じていると思います。でも、田舎の方に行きますと、話を中々理解されていないと感じます。ですから、その現地に行って、準備したメッセージをほとんど変えてしまいます。テーマは持っていますが、聞き取れないと思うからです。私たちもそうです。私が伝えようと思ったら相手が幼稚園生だった。ならば相手が分かるように水準を下げなければなりません。行ってみたら、大学生であった。それならばそのレベルに合わせて水準を上げて話すということです。今まで私が弟子訓練させた外国人の中では、最も重要な弟子が日本人からたくさん起こされました。各国々でたくさんの弟子たちが来ましたが、みな変わってしまいました。ある日、顔が見えないと思えばいなくなってしまうたり。でも、最初から今日までずっと続けているのは日本人です。おそらくそこには間違いのない理由があると思います。日本にはこの福音さえあればすべてがあると思います。どんな福音でしょうか。偽物の福音はいりません。この福音です。この福音を話しているのです。すべてに対して答えを下したそのキリストです。サタンを打ち砕いたそのキリストです。地獄の背景を打ち壊したそのキリストです。すべての災いを完全に打ち砕いたキリストです。確実にそうです。キリスト教が何か。仏教が何か。問う必要はありません。答えはここにあるからです。他人の宗教をああだ、こうだ言う必要はありませんが、教会もこの内容がなければ宗教です。福音ではありません。ですから、死ぬほど苦勞すると思います。後にどのように死んでいくか分かりませんが、未信者にも劣る生活の状態で死んでいくと思います。よく見ていただきたいと思います。パウロは、もちろん来た答えに対しても感謝しました。しかし、もっと重要なことは、

福音を与えてくださった神様に感謝しました。もっと重要なのは、福音のために苦難に遭う、そこに自分がいることを感謝しました。

2.生涯天命「生活」 - 旅程

▶では、一生の天命の生活は旅程です。

1) 受容

▶すべてを受容する。受け入れるということです。なぜなら、すべて間違っているからです。すべて受け入れればいいことです。

2) 超越

▶すべてを超越することができます。なぜでしょうか。

3) 旅程

▶契約の旅程があるからです。奴隷として行く。失敗ではありません。総理になった。答えではありません。すべては旅程です。それを理解できなければ、すごく大変なことになってしまいます。実際、ヨセフは総理になったので、イスラエル民族は引っ越してきて奴隷になってしまいました。では、それが失敗でしょうか。違います。旅程に過ぎないことです。皆さんがこの旅程の中にいらっしゃいます。

3.生涯天命「業」 - ただ

▶このような状態であるとき、みなさんの産業はただの祝福の中に入ります。単なるただではありません。ただというものを発見できるようになるのです。医者ルカがテオピロに送った手紙の内容です。本を2冊送りました。今のような本を書いたではありません。巻物に書いて送りました。パピルスという皮に書いては巻物にしてまとめなければなりません。ということはすごく重いです。ですから、両手で回せるくらい、開けるくらいの分量で送りました。何個送ったのでしょうか。とてもたくさんの内容を書き記したと思います。私は、インターネットに入ってみました。その手紙の一冊の価格はいくらか。一冊です。4万ドルでした。4万ドルであれば韓国のお金で4千万ウォンを超えます。ということは、回せる状態で作るならば数十個が必要になります。全体的にまともなものを送るためには数百個の量が必要です。でも、それをテオピロがやったということです。その祝福がどれくらい大きかったでしょうか。今でも残り御働きが起きています。皆さんの学業、職業、産業がこのような状態になるようお祈りします。

1) 奴隷 - 首相

▶もう一度、ただという奥義が何か見ていきたいと思います。奴隷が総理になりました。奴隷で行ったが確かに総理になりました。皆さんの職業が清掃をする人であっても構いません。なぜなら、ただを発見すればよいのです。皆さんの職業が総理であるなら、高慢にならずただを発見してください。

2) 羊飼い - 王

▶羊飼いが王になりました。ここで注意すべきことがあります。羊飼いをやっていたときも、ただの奥義を味わっていたということです。そして、王になった時も、もちろんただを味わいました。これで終わりです。皆さんが職業のことで心配しているかもしれませんが、そのような仕事はなくなってしまうかもしれません。皆さんの産業、全部無くなってしまいます。おそらくほとんど残らない可能性があります。もしも残ってずっと続けられずすごく苦しいかもしれません。第4次産業の主導権を握った3団体に仕えることになるからです。今、秘書チームに携帯電話がありますが、今壊れてしまって連絡が取れないのでパニック状態です。こういう時代になってしまいました。ですから、今はものすごい時代が来てしまったのです。自分がいくらそれは違うといっても避けられない時代です。

▶家族4人が空港に座っていました。4人とも会話をしません。みな携帯電話を見ていました。父親も携帯電話を見ています。何か飲みながら、また携帯電話。母親も携帯電話を見ています。息子も娘も携帯電話を見ています。4人ともちょこちょこ飲みながら携帯電話を見ています。時間になった。さあ缶を捨てて乗ろう。本当に面白い時代が来たなと思います。大革命です。これが3団体が作りだしたものです。私がこの話をする理由があります。これからが問題です。特にレムナントはこの答えを持って行っていただきたいと思います。ただ。一生の答えを、生涯の天命を。お分りでしょうか。これが本当に正確ならば御働きは必ず起きます。羊飼いであったとき一匹の羊も失いませんでした。ただであったからです。そのために石を投げる技術を常に練習していたのです。その石がゴリアテを打ったのです。ただです。

3) 医師、服を売る商売

▶何でしょうか。多くの方がいますが、初代教会には優れた医者のような人もいました。でも洋服を売

るようなタビタのようなルデヤのような人もいました。でも、その人達がやっていた職業は、ただであったのです。皆さんの産業がただという祝福を発見するようにお願いします。そうすると、誰も止められません。なぜなら、これは神から与えられるものであるからです。

▶今回のメッセージは3つあり、3つの単語が現れますが、それを常に味わってください。それでは、明日の2講義目は何が出てくると思いますか。握っていかねければなりません。一生涯、神様が私に与えてくれた天命です。

結論 - いやし

▶では、これを握りますと、どんな答えが来ますか。キリスト、神の国、ただ聖霊です。それが天命、召命、使命になります。そうすると何かをやるべきか、やらないべきか、どうするべきかということは必要ありません。何が必要ですか。当然、必然、絶対です。一般信徒でわざと牧師先生に逆らおうと思う人は誰もいません。実際、そう心に決めた人は誰もいません。一般信徒の祈りの課題が、今日は牧師に逆らおう、そのようなことはありません。長老たちの祈りの課題が、ただ牧師に逆らうこと。そんな長老はいません。当然、必然、絶対的なことから外れたことをやると、いろいろと問題が生じます。人々は、「どうしたらいいのですか」と質問します。一心、全心、持続であればいいです。そうだと思いますか。多くの人がこう尋ねます。どこで、何を、どうしたらいいのでしょうか。ただ、唯一性、再創造という方向に。いつやればいいのでしょうか。24時、25時、永遠です。その内容で一生の天命をもらい、刻印、根、体質でやっていけばいいのです。答えは、キリストです。

▶21

すると、本質的に御働きの起きます。これを継続することによっていやされます。早く直そうとしないでください。

1) 個人

▶これを正しく継続することによって、個人がいやされます。しかし、この言葉の意味が分かりませんと、霊的問題が続いてしまいます。この言葉の意味が分かりませんと、精神問題が続いてしまいます。

2) 教会

▶皆さんがこの答えを持って持続していきますと教会がいやされます。そうです。私たちは未信者からいろいろと教わっているので、戦って勝利しようと思っていますが、それが未信者のやり方なのです。皆さんはそうする必要が無く、戦わずに勝てるということです。ヨセフは誰と戦ったのでしょうか。なぜ戦うのでしょうか。神がいなければ戦うしかありません。ヨセフの戦いの対象は誰だったのでしょうか。いません。ダビデの戦いの対象は誰だったのでしょうか。誰もいません。ただ身の周りの人達がうるさくしていただけです。エリシャは戦わずに勝利しました。それがよい信仰生活ではなく正常です。

3) 現場

▶皆さんは、十分に日本を生かすものになるはずで、現場がいやされていきます。

▶必ず今回は、皆さんは大きく成長され復興されましたが、一人も残らずメッセージを握って持続してください。今から皆さんは今日から、皆さんが一生使える同じノートを用意してください。適当に書いてポイと捨てるようなものではなく、メッセージを記録してください。記録をして、皆さんの教会の牧師のメッセージを一度聞いてみてください。必ず1週間に1枚記録すべき内容が出てくると思います。出てきます。そのあと祈りの手帳を見てください。一緒にメモすべき内容が出てくるはずで、これを全部合わせてやってもあまり時間はかかりません。そして、もう一度、元旦メッセージを確認してみてください。どのように成就されたかということが確認できるはずで、それで前の方のページに戻って見たりしてください。そして、別の色でメモをしてみてください。その内容をもってフォーラムしてみてください。そして、ノートがいっぱいになりましたら保管してください。また再びやってください。このようなノートをエジソンは3千冊残しました。お分りでしょうか。

▶実際的に人々は、礼拝、神のみことばを重要視していません。神様は皆さんに大きな答えを与えようとするが、私たちは重要にそれを受け取っていないのです。レムナントの中にも貴重にメッセージを握っているレムナントは、必ず神の御働きの中に入っています。難しいことはありません。皆さんがそれを繰り返すと、礼拝がとても安定していきます。日曜日に教会に来ること自体がすごく意味あることになります。このようになることによって、すべてが生かされていきます。なぜなら、神様はまず皆さんにみことばを与え、それを成就されることを望んでおられます。今この状態でみことばが成就されています。今も神は皆さんの祈りに答えられています。今も神は日本に向けて、救いの御働きのされています。それを見て3つの今日と言います。お分りでしょうか。

▶神様の御働き、旅程

あまりいろいろと騒ぐ必要もありません。神の驚くべき御働きが見えるからです。その旅程の中に私がいるのです。ぜひこれを握って日本、世界福音化の主役になるように、この旅程に従って行ってください。私は何を残すのか。このただを残す。私はどこで何をすべきか。神の旅程に従って行くことです。私は何を持って出発するのか。神様がくださった答えを持って出発するということです。私たちは最善を尽くす次元ではありません。私たちはオールインです。私たちは努力の次元ではありません。私たちは命をかけた状態です。そのぐらいの価値を見たということです。アメリカに行きましたが、TVを見ました。生々しいショーをやっていましたが大騒ぎです。言葉にならないことをやっていました。人を倒したり、ある人は自分の番で倒されていないのにわざと倒れたりもしました。倒しても中々後ろに倒れない人もいます。だから、すごく力を入れて無理やり倒したりしました。こんなおかしいものを見ました。そういう必要がなくなるということです。契約を握ってください。「牧師先生、私たちはメッセージが終わった後、ただ帰ってしまいますが祈るべきではありませんか」と言われましたが、そういうことをする必要はありません。この中にとどまるだけで十分です。ある人々は、信じるということをものすごく力んで言いますが、信じていないからそうやって力んで言うのです。ただアーメンと言うだけで結構です。十分です。ある人は、悪霊を追い出すためにすごく夢中になっている人がいますが、悪霊はまた来ますから、そんなことをする必要はありません。この状態が維持できているならば、サタンはひざまづくようになります。これを継続することで、私にあった長引いてしまった古い霊的な問題の解決が始まります。消え去っていきます。今回、日本に神の最高の計画が成就されることをイエスの御名でお祈りします。

(祈り)

神様、感謝します。一生の契約を、一生の天命を握る始まりとなりますように。答えられたしもべたちのその場所に私たちがいることができますように。契約の旅程の中にとどまることができますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。